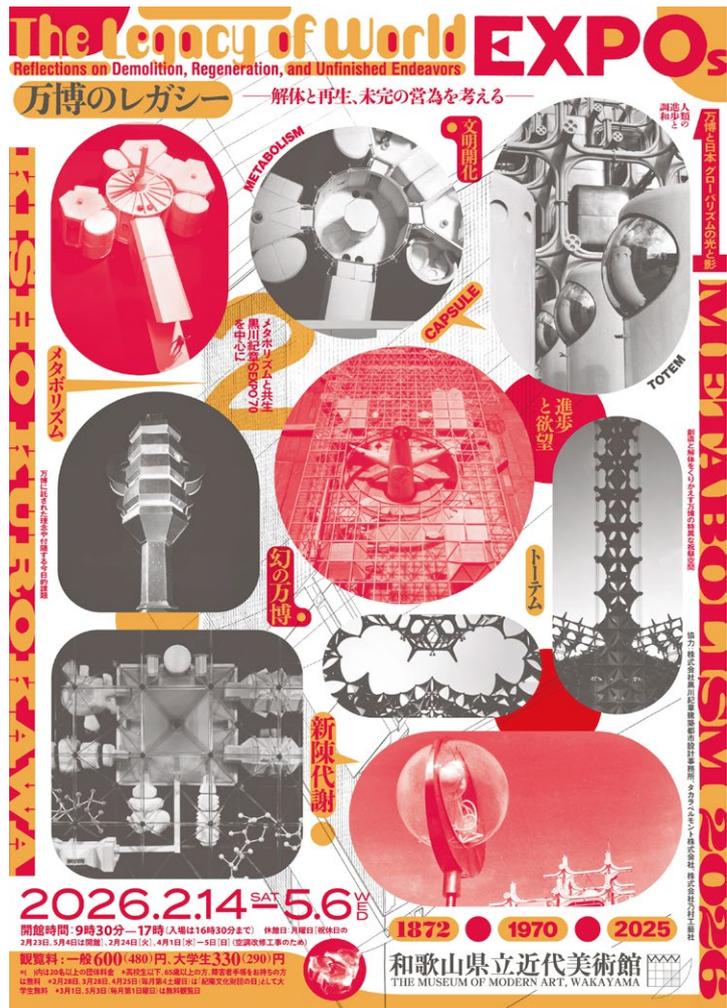


# 万博のレガシー

—解体と再生、未完の営為を考える—



①「万博のレガシー —解体と再生、未完の営為を考える—」展チラシ表面  
アートディレクション：粟津ケン デザイン：軸原ヨウスケ

2026年2月14日(土)～5月6日(水・休)

\*4月1日(水)～4月5日(日)は空調改修工事のため休館予定

お問い合わせ先

和歌山県立近代美術館  
学芸担当：井上芳子、田村允英、芦高郁子  
広報担当：村井

〒640-8137 和歌山県和歌山市吹上1-4-14  
TEL：073-436-8690 FAX：073-436-1337  
E-MAIL：press@momaw.jp WEB：https://www.momaw.jp



## 万博のレガシー —解体と再生、未完の営為を考える—

2025年、「いのち輝く未来社会のデザイン」を統一テーマに「日本国際博覧会（大阪・関西万博）」が開催されました。1851年に圧倒的な工業力を世界に示すためロンドンで誕生した国際博覧会（以下、万博）は、参加国が自国の文化や高い技術力を発信する一大催事として今日まで世界各地で行われてきました。それは同時に、植民地問題、民族問題、環境問題など国際社会が抱えるさまざまな矛盾と葛藤を内包してきました。万博の変遷は、19世紀から21世紀を迎えて四半世紀の現在に至る西洋近代主義のグローバル化の光の軌跡であると同時に、20世紀の2つの世界大戦に象徴される文明の影と不可分の歴史であると言えるでしょう。近年の万博では、参加者にも現代社会がはらむ数多の課題について考える姿勢が求められています。

本展は、創造と解体をくりかえす万博の特異な祝祭空間について2部構成でふりかえります。第1部【万博と日本 グローバリズムの光と影】では株式会社乃村工藝社の博覧会コレクションを中心に、日本との関わりに重点をおき、19世紀の初期万博から1970年大阪万博開催までの歴史や会場空間の変遷をたどり、今日的視点からその意味を探ります。第2部【メタボリズムと共生 黒川紀章のEXPO'70を中心に】では「人類の進歩と調和」を統一テーマに掲げた1970年大阪万博において「メタボリズム（新陳代謝）」という建築理念をキーワードに複数のパヴィリオン設計に関わり、1990年代に当館の設計を手がけることになる建築家・黒川紀章の仕事を、今回の万博の統一テーマにも連なるその先見性と合わせて紹介。さらに、大阪・関西万博にて和歌山ゾーンに出品されたアートワーク《トーテム》を特別展示いたします。

万博に託された理念や付随する今日的課題にもふれる本展は、万博のレガシー（遺産）について来場者の皆様とともに再考する機会となるでしょう。

### 開催概要

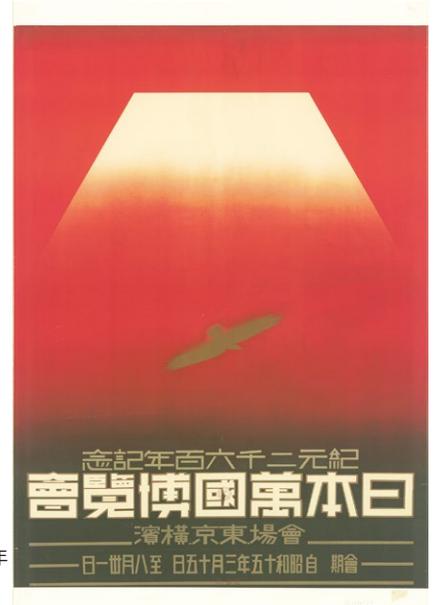
展覧会名	万博のレガシー —解体と再生、未完の営為を考える—
主催	和歌山県立近代美術館
協力	株式会社黒川紀章建築都市設計事務所、タカラベルモント株式会社、株式会社乃村工藝社
会場	和歌山県立近代美術館 1階展示室
会期	2026（令和8）年2月14日（土）～5月6日（水・休）
開館時間	9時30分～17時（入場は16時30分まで）
休館日	月曜日（祝休日の2月23日、5月4日は開館）、2月24日 4月1日（水）～4月5日（日）は空調改修工事のため休館予定
観覧料	一般600（480）円、大学生330（290）円（）内は20名以上の団体料金 *同時開催の「MOMAW コレクション 関西の戦後美術」及び「MOMAW コレクション 現代の美術」も観覧可能 *高校生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方は無料 *毎月第4土曜日（2月28日、3月28日、4月25日）は「紀陽文化財団の日」として大学生無料 *第1日曜日（3月1日、5月3日）は無料

主な出品作品

掲載用画像については広報担当にお問合わせください。  
文字のせ、トリミング等はお遠慮ください。



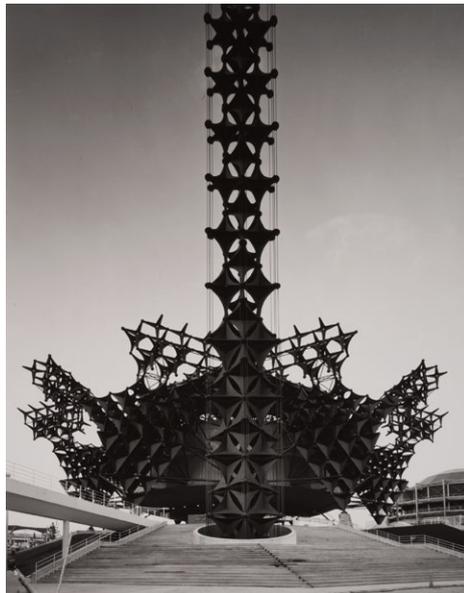
②昇斎一景《元ト昌平阪聖堂ニ於テ博覧會圖》1872年 乃村工藝社蔵



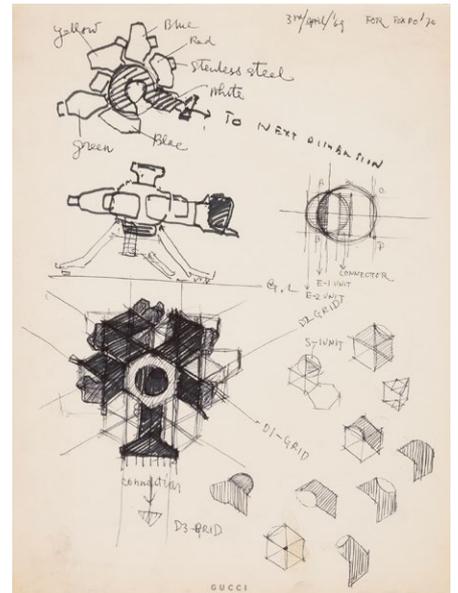
③中山文孝《紀元2600年記念 日本万国博覧會 [ポスター]》1938年  
京都工芸繊維大学美術工芸資料館蔵 AN. 2694-37



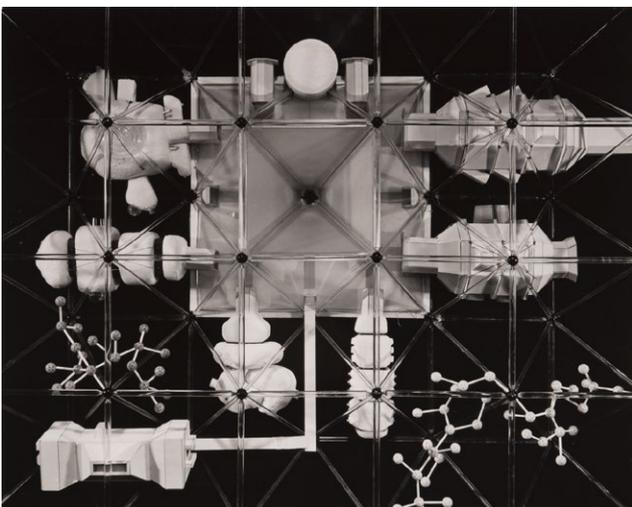
④粟津潔《黒川紀章の作品 [ポスター]》1970年  
美術出版社刊 個人蔵



⑤黒川紀章《EXPO'70 東芝 IHI 館》1970年  
(撮影：大橋富夫) 黒川紀章建築都市設計事務所蔵



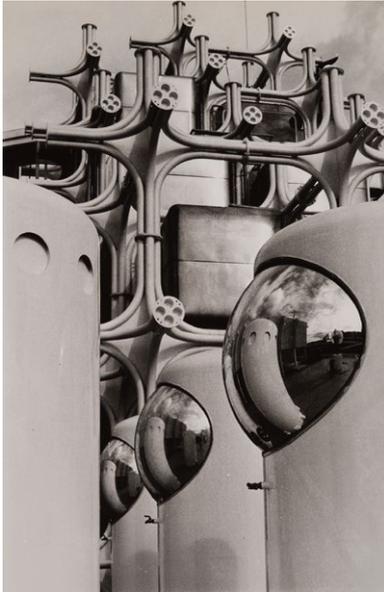
⑥黒川紀章  
《EXPO'70 空中テーマ館住宅カプセル [スケッチ]》  
1969年 黒川紀章建築都市設計事務所蔵



⑦黒川紀章《EXPO'70 空中テーマ館 [模型写真]》1968年  
(撮影：大橋富夫) 黒川紀章建築都市設計事務所蔵



⑧黒川紀章《EXPO'70 タカラ・ビューティリオン [模型]》1968年頃  
タカラベルモント蔵



©黒川紀章《EXPO'70 タカラ・ビューティリオン》1970年（撮影：黒川紀章建築都市設計事務所）黒川紀章建築都市設計事務所蔵



©吉本英樹《EXPO2025 和歌山ゾーンテーマ》2025年

## 関連事業

- ▶ 2026年2月15日(日) 14時～16時  
タカラベルmont プレゼンツ スペシャルトーク

コシノジュンコ(デザイナー)

進行：本橋弥生(近現代ファッション文化史・京都工芸繊維大学准教授)



- ▶ 2026年3月8日(日)

14時～15時 記念講演会 隈研吾(建築家)

15時～16時 トークセッション

建畠哲(美術評論家) × 隈研吾(建築家) × 吉本英樹(デザイナー)



©Designhouse

**\* 当日9時30分より整理券を配布します。詳細が決まり次第、当館ウェブサイト等でお知らせします。**

- ▶ 2026年3月7日(土)、8日(日) **こども美術館部** (小学生を対象とした作品鑑賞会)

両日同内容 11時～12時頃まで

各日先着6人程度 **\* 要申込、2月中旬頃受付開始。詳細が決まり次第、当館ウェブサイトでお知らせします。**

- ▶ **ギャラリートーク**や各種イベントを予定

## 同時期に開催の展覧会

- ▶ MOMAW コレクション 関西の戦後美術  
2026(令和8)年2月14日(土)～5月6日(水・休)

- ▶ MOMAW コレクション 現代の美術  
第6期：2026(令和8)年1月31日(土)～3月31日(火) ほか